

授業科目	義肢装具学	3 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	渡邊耕太 (保健医療学部研究棟 E410 号) e-mail : wkota@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	太田久晶、中村充雄、青木信裕、戸田創、(野坂利也)		
概要	一時的あるいは永久に身体機能を消失した時、その機能を身体外部から代償する方法を学ぶ。四肢及び体幹の形態が残存している場合に用いる装具と、消失した場合に用いる義肢、及び車椅子について、材質やその構造や機能について学び、個々の患者や障害者の有する機能不全に適した義肢装具の処方、採寸、採型、製作、適合判定を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢・装具・車椅子の名称、各部の名称や機能を説明できる。 2. 疾患や障害を考慮した処方ができる。 3. 義肢・装具・車椅子の適合判定ができる。 4. 義肢・装具・車椅子の有用性について評価ができる。 		
関連科目	運動器障害理学療法学、リハビリテーション医学、整形外科学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	70%	受講態度：授業への集中度、質問や発言の状況
	レポート	15%	
	受講態度	15%	
教科書	指定なし		
参考書	①日本義肢装具学装具学会 監修 [最新版] 「義肢学」 医歯薬出版 ②日本義肢装具学装具学会 監修 [最新版] 「装具学」 医歯薬出版		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス. 装具総論, 靴型装具, 靴の補正	事前：装具、靴型の種類。 事後：靴の補正方法。	講義	戸田
2	上肢の装具	事前：上肢の装具の種類。 事後：装具の使用、治療効果の実際を復習。	〃	中村
3	上肢の自助具	事前：上肢の自助具の種類。 事後：自助具の適応と治療の実際を復習。	〃	〃
4	上肢の切断	事前：切断となる疾患、病態。 事後：切断レベルによる違いを復習。	〃	太田
5	下肢装具, 体幹装具	事前：下肢、体幹装具の種類。 事後：装具の適応と装着の実際。	〃	(野坂)・ 青木
6	切断総論, 足部・サイム・下腿切断と義足	事前：切断に至る病態や疾患、切断法。 事後：各切断法の違いと特徴。	〃	〃
7	大腿切断と義足, 股関節離断と義足	事前：大腿切断・股関節離断に至る病態、疾患。	〃	〃

		事後：義足の種類、その機能。		
8	ギプスの巻き方(講義・演習)	事前：ギプスの適応。 事後：ギプス治療時の肢位、合併症。	実習	渡邊